

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和3年2月20日

事業所名: 放課後等デイサービスマーガレット

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・基準に基づいて整備している ・必要に応じて机を出したり片付けたりしてスペースを工夫している。	設備基準に基づき、スペースを設けている。活動内容に応じて体育館などを利用して実施しており、活動しやすい環境づくりを目指している。今年度は新型コロナウイルスの影響で他施設の利用が難しく、可能な限り対応した。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・多く配置されている ・急な休みにも対応した基準以上の職員を配置してもらっている。	看護師、元学校教諭、保育士、介護福祉士、社会福祉士と言った多職種が在籍している。毎日の職員も基準以上に配置されており現状を維持していきたいと考える。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・トイレや玄関等手すり設置している。適切な場所の設置している。 ・一軒家を借りている為限度はあるが人の力を使って段差解消を図っている。	今後も、利用児童の障害の状態や身体の成長発達に応じて検討を行っていく。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	○				定期的にかンファレンス時に職員間で話し合いの場を設けており、今後も職員全体が参加できるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・年1回のアンケートを取り改善出来た点など保護者に報告するなど行っている。	ガイドラインに沿ったアンケートを活用し、職員間で、その評価の改善策の話し合いを設けており、今後も業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・保護者会がコロナで出来ていなかった為直接自己評価の結果を掲示できていないがホームページには掲示している。	今後も保護者全員に評価の結果を見せ、その結果についてまた意見がもらえるような環境づくりを行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				意見等を受け、迅速対応できるように努めていく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・コロナの影響もあり対策を考えた参加が必要。 ・コロナの為研修の機会が少なかった。 ・研修案内のメールや職員が希望するもの等、年1回以上研修に参加できるようにしている	シフト調整、勤務として研修参加を継続できるように行っていく。また、参加職員以外も、知識の情報共有を図っていく。また、コロナの影響で機会が少なく、オンラインでの研修も参加できるように行っていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・中間評価、評価等アセスメントツールを使用し、保護者・学校等と連携した上で作成している。	アセスメントツールの活用や、担当者会議など関連事業所との情報交換をしながら、多面的に計画を作成していく。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				今後も継続して適切な支援を行えるように、標準化された現在使用しているアセスメントツールを使用し、状況確認等支援に活かしていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間で話し合いの場を用いて計画している。	安心、安全な計画立案を行うため、多職種の視点から、活動プログラムの計画を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・土曜日の長期休みの利用日などに随時いろんなプログラムを設定している。 ・リトミック・英語・手話スタッフが資格を活用したプログラムを作成している。	コロナの影響で外出の機会が減ったため、新たに、リトミック、英会話、手話、木工づくり、季節の行事を取り入れた。今後も保護者からの意見を取り入れながら安全なプログラムを工夫していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日・長期休暇は前週、前々週に確認を行い行っている。	放課後等デイサービス計画に記載し、支援している。利用する子どもと一緒に考えられるような課題を考え、支援していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				児童の個々を捉えた関わりができるように、スタッフで毎月のカンファレンスと必要時行う情報共有を行いながら、個別活動と集団活動を行っていく。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日に来所する子供たちの様子や必要な情報について皆で共有し、確認している。	支援開始前にミーティングを行い、支援内容や役割分担について確認していくことを継続している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日夕方反省会をしている。	毎日、職員間で振り返りを行い、問題に対し、対応策を検討し、早期に対応している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・SOAPで記録を取り、毎月目標を立て、その添って支援している。	日々の情報を正しく記録することで、利用者の変化や成長を含めて一月ごとの目標設定をし、支援内容の改善につなげている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・6ヶ月毎にモニタリングを行い必要に応じて見直しを行っている。	定期的モニタリング時期には保護者と日程を合わせて面談しており、計画の見直しを行っている。相談支援員とも連携を深め、情報共有に努めていきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				ガイドラインについて職員も把握し支援行っているが努力が必要である

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・コロナの影響を考えながら対策しながら参加している。 ・代表が参加している。	サービス担当者会議には出席できるようシフト調整や場所の提供を行い参加している。今後も利用する子どもに適切な個別支援計画に反映できるよう取り組んでいく。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				養護学校については、送迎時など学校から申し送りがあり、密な情報交換を行い、長期休暇中に施設訪問をうけて情報交換や評価を行うことができた
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				吸引や注入などの医療的ケアを適切に行えるよう、チェックシートを使用し、行動出来た。今後も保護者と連絡帳などを使い、病院受診後の状況確認を行い、体調管理の確認をしていく。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				継続的な支援ができるように、相談支援員や保護者を通じて、就学前に利用していた保育所、児童発達支援事業所との連携を図っていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				実習の頃から訪問し、子どもの状況の確認や情報共有を行うことができた。今年度は対象者がいなかったが、今後も継続できるよう努めている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				現在、連携する機会がほぼなく、機会があれば積極的に利用していきたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			コロナにより参加を控えている。コロナ禍での課外活動の制限がありどちらともいえない。	今年度は、コロナ感染予防のため、接触を控えている。今まではこども食堂やふれあい館の行事等に参加していたため、状況に応じて参加していきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等積極的に参加しているか	○			コロナの影響で参加を控えている。	案内を受けた時は参加していきたい。常に情報収集を行い、会議などに参加していき、関係作りを広げていく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				毎日の職員ミーティングにて課題を抽出し、スタッフ全員間も共有を図り、何時でもどこでも情報提供できるように努めている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				ペアレントトレーニングの支援の意識をもって支援を行っていき、また研修等受け、理解を深めて、保護者の対応力の向上を図っていきたい。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				支援の内容については、見学時に活動内容のDVDを観ていただいたり、実際に体験をしてもらったりしている。また運営規程や利用者負担等については、契約時に担当が保護者に文書で説明し、事業所と保護者で1部ずつサインしたものを保管している。法改正による利用者負担額の変更等があった場合は、その都度報告できるようにしていきたい。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・訪問・来所等保護者の希望に応じて支援している。	連絡帳や電子ツール、電話、来所等、保護者にあった方法を考え、適切に対応している。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				年2回保護者会を行っている。今年度は開催を見送ったが、今後はオンライン等、保護者と意見も伺いつつ、開催を考えていきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・上司に報告し対応したことなど保護者に報告を適宜行っている。	苦情相談の研修を受けた職員が受付担当となり責任者に報告している。事業所に案内の掲示を行っている。マニュアルに沿って、適切に対処できるよう掛けていきたい。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・夏休み・冬休みの計画・職員の挨拶等保護者の希望あり発信している。	年2回の会報ができるよう、また電子ツールを使った方法などを利用し、発信できるようにしていきたい。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・施錠あり	個人情報保護の研修を受けている。また契約時に保護者に個人情報の説明を行い、確認と同意を得ている。情報には管理者が施錠管理を行っている。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・必要時連絡帳やライン、訪問等行い保護者との連絡を取り合っている。	子どもに伝わりやすい方法については、保護者から直接伺い、職員が共通して取り組めるよう配慮している。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・地域の方や消防署、明和警察署との交流が出来ていると思われる。 ・クリスマス会など今年はコロナで行事自体出来ていない。	・クリスマス会等外部の方を呼び交流しているが、地域イベント等参加できる事への取り組みを増やしていけたらいいと思う。 ・クリスマス会や夏休みの行事（陶芸、木工作成など）には地域の方からの支援が受けられているため、今後も可能な限り継続していきたい。	
非常時	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			年2回実施し、保護者にも連絡している。	事故緊急時対応マニュアル、感染症予防マニュアルが対応している。嘔吐時の対応を掲示し、周知を行い、保護者会で周知している。防犯講話を交番に依頼し不審者侵入の際の対応について周知している。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回実施し、消防にも報告している。	非常災害時対応マニュアルを作成し、消防署の協力の下2回/年災害訓練を行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・パンフレットを事業所に掲示し、研修も毎年参加している。	毎年、虐待防止の研修に、代表の職員が参加しており、マニュアルに沿って適切に対応していきたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
時 等 の 対 応	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・マニュアルに沿って同意書に保護者からサインをもらい、月1回見直しをしている(必要時)。	身体拘束の必要性については、職員間で状況を十分に話し合った後、また子どもや保護者と十分に話し合った上で、マニュアルに沿って適切に対応している。身体拘束を行う際は、記録に記載し、毎月見直しや必要性の有無を行っている。今後も適切に対応していきたい。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現在利用者中にいない為していない。いる場合指示書をもらい対応している。 ・現在食物アレルギーの子はいないが保護者に契約時必ず確認し対応している。	利用開始前に、看護師が保護者に聞き取りを行っており、そこで必ず食物アレルギーの確認を取り、職員全員が把握している。おやつ提供時やお弁当購入時に職員が確認している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・インシデントは作成し、職員で把握している。鹿児島市役所にも適宜報告書類にて行っている。	職員ミーティングや終礼時に、ヒヤリハットになりそうな状況を報告し、情報を共有できている。文書化まではできていないので、今後考えていきたい。